小坂町の滝と巖立峡 ひめしゃがの湯

この世のものとも思えないそれらの滝は、かつて御嶽山から流れ出て現在は石化している溶岩の上に育つ、下呂市郊外の森の中にあります。小坂の滝は 216 の滝から成っており、その全てが高さ 5 メートル以上と、日本にある同様の場所の中で最大の滝群になります。その原始の自然環境は、溶岩流が遠く下呂にまで達した御嶽山の 2 度にわたる噴火の結果です。最終的に溶岩が冷えて形成された長い柱状や厚い板状の岩は、このエリアの山道をハイキングすると見ることが（そして上を歩くことさえ）できます。

山道に足を踏み入れるだけで、トレッキング旅行者は自然にどっぷりと浸かり、生い茂った木の葉に囲まれます。傾斜した地形の場所には階段が組み付けられており、経験の浅いハイカーでもトレッキングしやすくなっています。より高くまで登るほど、滝に近づくことができます。一番上では、ハイカーと危険な絶壁を隔てているのはたった 1 本の手すりだけです。激しく流れ落ちる滝の水しぶきが階段や山道の上に降り、空気は爽やかで気持ちよく息をすることができます。

山道の難易度や距離はさまざまで、30 分でハイキングできるコースから、ガイドが必要な 1 日がかりのトレッキングまであります。それらの中で最も易しいものの 1 つが三ツ滝コースで、約 3 時間で「三ツ滝」「あかがねとよ」「からたに滝」の 3 つの滝を巡ることができます。山道からは、この地域の広大な自然の美しさが凝縮された景色を見わたせます。

火山活動の結果は、小坂の滝のハイキングコースの至る所で見ることができます。三ツ滝コース沿いにある「がんだて公園」から見られる、54,000 年前の溶岩が作り出した巨大な礫岩「巖立（がんだて）」は、御嶽山の噴火が作った長大な玄武岩柱の典型例です。スケジュールに余裕のないハイカーはがんだて公園から出発すれば、約 30 分で三ツ滝まで往復が可能です。

正式な三ツ滝コースは浴場「ひめしゃがの湯」から出発し、訪問者に小坂の滝も温泉地にあることを思い出させます。ただし、その水質は下呂中心部で見つかった水とは異なります。この水は自然の炭酸ガスが豊富に含まれていて口当たりがシュワシュワしており、多くの健康効果があると言われていています。また、その独特の風味は鉄分が多いことに起因します。